

# 33 「国語科の学習が読書活動に結び付くように」 校内研究(青森県学校図書館シンポジウムにおいて発表)

青森県 青森市立原別小学校

## 基本データ

所在地 青森市原別字袖崎8  
児童生徒数 380人  
教職員数 24人  
蔵書数 10,584冊  
年間貸出冊数 7,468冊

## テーマ・活動のねらい等

【テーマ】授業改善、教員による利活用の推進

【活動のねらい】

- 学校図書館を活用し、本が大好きな子どもたちに本のおもしろさを感じ取れる力を育てる。
- 読む力を確実に身に付けさせ、話の内容がよく分かり、楽しさを味わえるようにする。

## 取組・活動の概要

【取組の内容】

- 教材文で学んだ「読み」を、教材文と関連させた作品を取り上げて生かす学習を計画的に行っている。
- 身に付けさせたい資質・能力に合わせた言語活動の選択と、効果的に言語活動を進めていける単元構成の工夫と改善を行っている。

【具体的な授業例】

- ① 1学年国語科「くちばし」の説明的文章の学習
  - 「くちばし」(光村図書1上かざぐるま)の授業では、問題カードを作成させ、絵の方を友達に見せながら、児童が自分で考えた問題を出し合う活動を行った。



問題カードを使って問題を出し合う様子



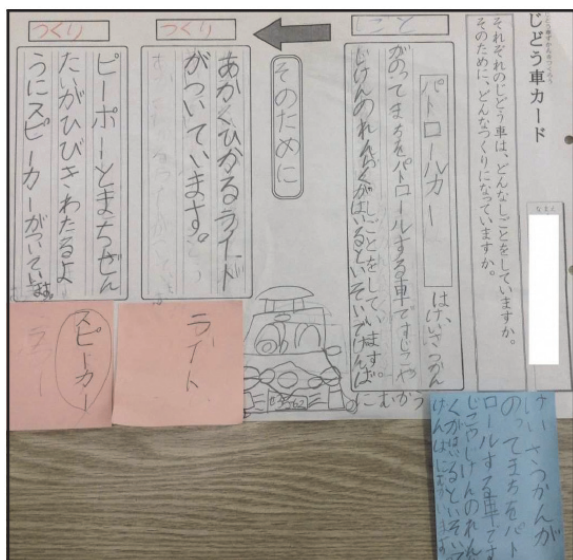
図鑑を見ながら児童が作成したカード  
表に「問い」、裏に「答え」

- ② 1学年国語科「じどう車くらべ」

- 「じどう車くらべ」(光村図書1下ともだち)の授業では、自動車の図鑑を55冊用意。ブックリストに記入しながら意欲的に読書する姿がみられた。



ブックリストに記入しながら自動車の図鑑を読む



図鑑で読み取った「しごと」「つくり」を付箋に書き自動車カードを書いた

- 児童の読書の様子を把握することの必要性を実感し、単元の指導計画に「並行読書」の流れを明確に示した。教材文を読み取る学習の中で、並行読書教材で知り得た情報を発言する様子も見られた。

次 時	ねらい	主な学習活動	並行読書
第一 次	1 「じどう車ずかん」を作るという単元のゴールを確かめることを通して、活動に興味をもち、教材文や図鑑を進んで読むことができる。	・指導者が作成した自動車カードを読み、その自動車を知り、その理由について話し合う。 ・「じどう車ずかん」を作り、家の人に紹介するという単元のゴールを確かめる。 ・「じどう車くらべ」を読み、自動車カードの書き方を学習する見通しをもつ。 ・並行読書教材を知り、ブックリストに書く内容を確認する。	○朝読書や国語の時間に読み、ブックリストに「気に入った自動車・理由」を記入する。 ○毎日、教名の児童にブック内容を確認する。
第二 次	2 「じどう車くらべ」の「問い」の文を見付けることにより、「答え」に「しごと」と「つくり」が書いてあることに気付くことができる。	・教材文の2つの「問い」を見付け、青色（しごと）と赤色（つくり）でサイドラインを引く。 ・挿絵と文を対応させながら、「答え」として、3つの事例があることを確かめる。 ・「答え」の3文に何が書かれているかを、「問い」の文を手がかりにして考える。	
	3 バスや乗用車の「しごと」と「つくり」についての大事な言葉を見付けることにより、絵と対応させて内容を読み取り、言葉を書き抜いて自動車カードを書くことができる。	・「問い」の文を手がかりにして、「しごと」と「つくり」に関する言葉を見付ける。 ・「しごと」の文は青色、「つくり」の文は赤色で一文ずつ囲む。 ・挿絵と文を対応させながら「つくり」が工夫されていることや文章表現の仕方を確認する。 ・言葉を埋める形式の自動車カードを書いて、読み合う。	

指導計画に並行読書の流れを示す

### 取組・活動の工夫や特徴

- 教師が言語活動のモデルを作成し、単元のはじめに提示する。
- 全文を1文ずつ短冊にし、説明の順序を考えさせる等の学習で、読みの力を高める。
- 学校図書館だけでなく公立図書館から借り出した図書により並行読書を活用、教科書の教材文と比べさせる。
- 図鑑等を用いることで具体的なイメージをもたせ、動作化させることで実感させる。

- 振り返りカードを用いて学習によって身に付いた力を自覚させる。
- 読んだ本について記入するブックリストを学習中にも書かせることで、主体的な読書活動へつなげる。



教師が作成したモデル文（じどう車くらべ）

### 取組・活動の成果や今後の展望

#### 【取組実施後の児童の観察による成果】

- 読書への意欲が高まった。
- 「文章を書けるようになってきた」「書いた文章を友達に読んでもらうのがうれしい」というように、国語科の言語活動への意欲が向上した。
- 自分にできないことをメタ認知することで、次の学習への意欲につながった。

#### 【単元終了後の評価テストで見られた課題】

- 「時間や事柄の順序に従って内容を押さえて読む」等、読む力が十分に身に付いたとは言えない。今後の言語活動のさせ方を改善していく必要がある。

#### 【その他】

- 学校司書の配置による、教材に関わる図書の選定等ができるようになることを望む。